

やさかだより3 No. 108

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com> 2025年(令和7年)3月1日



3月号外の記事

地域づくり協議会の活動から	2
たけのこ保育園	3
八坂小中学校前期課程	3
八坂小中学校後期課程	4
山留の風	5
八坂公民館	5
話題の八坂人	6

八坂小中学校後期課程生徒会主催第5回フォトコンテスト「わたしの八坂」最優秀賞作品「我が家の田んぼ」吉田敏之さん

八坂地区の人口: 690人(男353人・女337人) 八坂地区の世帯:339 世帯(令和7年2月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

期日	区分	内容等
2/16	男女共同参画の集い	・ホワイトスパイスカレーづくり～座談会
2/20	市長要望	・正副会長、事務局

八坂診療所の運営体制について

令和 7 年度における八坂診療所の運営方法について、1 月 17 日（金）に開催の八坂地域づくり協議会において、市役所市民課国保年金係より当面の診療体制について説明がありましたのでお知らせします。なお、委員より早期に常勤医師の確保を行なうよう意見が出されました。

< 診療内容 >

- ・八坂診療所長 こませ ゆうこ 駒瀬裕子医師（大町病院 呼吸器内科）
- ・診療担当医 たがわ てつや 田川哲也医師（大町病院 総合診療科）
- ・スタッフ 宮崎ひでみ看護師
ほか看護師 1 名、医療事務員 1 名
- ・八坂小中学校校医・たけのこ保育園担当医 田川哲也医師



開 診 時 間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前 9:00～12:00	駒瀬医師	田川医師	休診	駒瀬医師	休診
午後 13:30～17:00	（未定）	田川医師 （送迎診療）		駒瀬医師 （送迎診療）	

地域の活動から

切久保鳥追い

夜明け前、深々と冷え込む闇の中、カンカン！カンカン！と集落に響く羽子板の音、1月19日（日）、今日は鳥追いの日、子供たちが各戸を巡ってやって来る、玄関前で歌う声で目が覚める、戸を開けてお礼にお菓子とお駄賃、子供たちも大変だけど楽しいかな？ありがとうございます、ご苦労様。

切久保自治振興会

立花 康一



たけのこ保育園

そり遠足で、しらかば保育園に
いきました

1月28日(火)バスに乗り、しらかば保育園にいきました。バスから降りるとしらかば保育園のお友だちが、出迎えてくれました。しらかば保育園のとなりのグラウンドに出かけ一緒にそりを楽しみました。良い天気に恵まれ、何回もそりで滑りスピード感や雪の感触を味わい楽しい時間を過ごすことができました。



鬼がやってきた！

2月3日(月)に節分の豆まきがありました。お面をかぶり、豆を入れてもらい、「鬼をやっつけるぞー！」と、はりきって外に出て待っていました。学校の方から青鬼と赤鬼がやって来て、子どもたちは、びっくりしていました。先生と一緒に「鬼は外！福は内！」と叫びながら豆を元気にぶつけていました。「鬼は怖かったけど豆を投げてやった」「本物の鬼かな」と子ども同士で会話をし、伝統行事を楽しみました。



八坂小中学校前期課程

授業参観

2月1日(土)に、本年度最後の授業参観を行いました。今回は、一年間のまとめとしてこれまで学んだことを発表したり、お家の方々に感謝の気持ちを伝えたりしました。

校長講話では、本年度の教育活動の様子をお伝えしたり、ちょっとした問題に挑戦していただいたりしました。

スキー教室

2月7日(金)には、最大寒波と報道され、大雪が心配されましたが、無事に爺ガ岳スキー場にてスキー教室を行うことができました。協働隊をはじめとする、ボランティアの皆様のご協力もいただき、楽しく、そして安全に行うことができました。

本当にありがとうございました。



八坂小中学校後期課程

1月10日（金）にマクドナルド先生を講師に迎え、4名の代表者がプレゼンテーションを行った後先生から指導を受ける場が設けられました。プレゼンテーションを効果的に行うためのポイントとして「人間性を伝えること」「最も伝えたいことを最初に述べること」「聴衆と目を合わせて話すこと」などを挙げ、生徒たちはそのアドバイスを真剣に受け止めていました。さらにポスターセッションに関する重要なポイント7つも教わり生徒たちはそれを参考にしながら、自分たちのポスターセッション作りを進めていきました。この講習会を通じて、生徒たちはプレゼンテーションスキルや効果的な発表方法について多くの学びを得ることができました。

プレゼンテーション



そば打ち体験



12月4日（水）に7年生12月6日（金）には8・9年生が「そば打ち体験」を行いました。自分たちで育てたそばと、勝野健一さんからいただいたそば粉を使い、そば打ちに挑戦しました。講師に、北澤千代司さんと渡辺恵子さんをお招きし、匠の技を間近で見学した後、自分たちでそばを打つ体験をしました。打ちたてのおそばは給食で提供され、みんなで美味しくいただきました。また、9年生にはこれから「そば打ち認定証」が授与される予定です。この活動を通じて、生徒たちは食文化や伝統技術を学び、貴重な体験となりました。

2024 第5回『わたしの八坂』フォトコンテスト最優秀賞ほか各賞決定



最優秀賞
「我が家の田んぼ」
吉田敏之



優秀賞
「光のあたる場所」
栗間光



優秀賞
「舟場から犀川を見る」
曽根原崇



優秀賞
「まるで水彩画」
市河千春



入選
「代掻き」
吉田龍馬



優秀賞
「田植えの季節到来」
内山喜久夫



入選
「初日を待つ」
金子しげみ



入選
「夏の替女岩」
渡邊剣太郎



入選
「竹の芸術」
小河裕子副校長



入選
「たくさんの思い出のある
押の田の風景」
吉田龍馬



入選
「お日様まぶしいな②」
西海葵



入選
「八坂のその先は」
曽根原崇



入選
「棚田の朝日」
花岡慶祐



入選
「虹がかかった冬の滝」
尾又大心



入選
「八坂のおやきとえば」
武居美紗



冬の山村文化

学園生は3月のスキー技術検定に向けて、技術向上に熱を燃やしています。セントアの冬の活動はさまざまな山村文化体験をしています。

12月には毎年恒例の野沢菜漬けをしました。野沢菜を焔で育てて、醤油と塩で漬けました。お菜を洗う作業は、冷たい水が手に染みませんが、学園生同士で励まし合いながら作業を進めました。漬ける際に手作り味噌を加えるのがセントア流です。出来上がった野沢菜は、セントアでの食卓に毎日並んでいます。

また冬の山村文化である炭焼きに向け、原木の切り出しと薪割りも体験しました。山仕事創造舎の方に協力いただき、ならの森キャンプ場の木を3本切り倒しました。そのうちの1本は、

新入園生がノコギリだけを使って切り倒しました。継続生が中心となって玉切りし、適切な長さに切られた原木は炭焼き小屋に運ばれ、年明けには薪割りが始まりました。重い斧を狙った所に落とすのは難しく、大変な作業でしたが、割れたときは「ついでできた!!」と達成感のある表情を浮かべていました。原木の切り出しや薪割りは、手作業で行うと時間も労力もかかります。「昔の人はすごいね」と自然と共に過ごし暮らすことを身をもって体験することができました。

さて、3月20日(木)に、学園生27名が修園を迎えます。子どもたちは修園に向けて、悔いのないよう毎日を精一杯過ごしております。学園生たちがここまで成長することができたのも、地域の方々に様々な場面で協力頂き、見守って下さったお陰です。本当にありがとうございます。

4月からは、新たなメンバーで八坂50期・美麻34期として歩みだしていきます。来年度もどうぞよろしくお願いします。

八坂公民館の活動

スキーマの集い



山村留学生が冬の活動として行っているアルペンスキーに、八坂公民館と美麻公民館では、地元の子どもの参加者を募って一緒にスキーを行いました。第1回目は2月3日(月)鹿島槍スキー場で、第2回目は2月11日(火)爺力岳スキー場で行いました。子ども達はクラスごとに分かれ指導者からアドバイスをいただきながら、スキーの技術向上と交流を行いました。

また、第2回目はポールを立てスラロームに挑戦し、タイムを競い合いました。2日とも天候に恵まれ、大自然の中でスキーを楽しみました。

初心者向けのゲートボール教室

公民館では、八坂で唯一、継続して行っているスポーツの一つであるゲートボールの「初心者向けの教室」第1回目を1月23日(木)に開催しました。以前から、ゲートボール連盟に新規加入された人達から、「いざ試合になれば第1ゲートが、通らない」などの要望があり、技術の向上を目的とした初心者向けのゲートボール教室を冬場のこの時期に開催することにいたしました。

教室は、参加者の方々が苦手な部分を克服するため、初日は、約2時間の教室となりました。今回の参加者は、比較的に女性の方が多く、女性の方が参加しやすい午後3時から午後6時まで、5回を開催する予定です。2回目以降は、苦手な部分の練習の後は、ルール説明や試合等も開催していく予定です。



第5回フォトコンテストを開催、フォトアルバムとクリアファイルを製作した八坂小中9年生

2024第5回「わたしの八坂」フォトコンテストには、総数104点の応募がありました。先日、厳正な審査を行い、各賞が決定しました。受賞作品は、八坂小中学校および八坂地域づくり協議会のホームページでご覧いただけます。地域の魅力を捉えた素晴らしい作品が多数あり、地元の風景や文化の美しさを再認識させてくれるコンテストとなりました。ご応募いただいた地域の方々本当にありがとうございました

(八坂小中学校後期課程)

入賞された写真だけでなく選に漏れた写真にも素晴らしい作品が多く選に漏れ残念に思う写真もあり、応募された方々の八坂愛を強く感じる事ができました。第5回フォトコンを主催した9年生は西海さん、藤井さんのお二人だけの作業となり例年になく負荷のかかる作業だったと思います。フォトアルバムとクリアファイル製作に頑張っていた方がとうございます。西海さんは神奈川に戻られても時々はこのフォトアルバムを開いて八坂の生活を思い出していただきたいと思います。(支援員 小浪)

各特別賞の3点



校長賞
「何だこれは？」
北澤豊繁



支援員賞
「霧氷から初日の出」
塚田ひろ江



生徒会長賞
「朝日の輝き」
新渡戸知広



八坂支所からお知らせ

先日、音声告知放送の再生ボタンを押しても、途中までしか再生されないとの問合せがありました。放送端末の再生は、1件2分が限度となっております。放送の内容で確認事項などありましたら、八坂支所までお電話ください。

編集後記

私は、令和3年4月より移住し、その年の9月に、信州新町の羊を飼育する仕事に就きました。毎日、毎日本当に忙しく、子供の学校行事や、地区の行事などにあまり参加する事ができず、八坂の皆さんと接する機会があまりありませんでした。ですが、今年度には、八坂地区の自治会長になり、舟場自治振興会の役員となり、色々な行事に参加させていだきながら、地区の風習や文化に触れる事ができました。

そこで、驚いたのは、高齢の方々の人間力。若い人より、あるのではないかと、思ってしまう程の体力に、様々な知識や、技能など。そして何より仕事や早くても綺麗に整頓されている倉庫など、とても綺麗に整頓されているのに、とても感銘を受けました。どちらかというと、大雑把な性格な私ですが、作業や仕事をする時には、皆さんを見習い、少しでも近づく事ができる様に、いつも意識しています。基本、毎日が同じ作業の繰り返しの仕事ですが、やはり少しでも手を抜いたり、怠けたりすると、必ずしうべ返しが来ます。

常に、周りにはお手本となる皆さん達がいるので、いつも身が引き締まり、日々精進する事ができ、まだまだ新しい発見や、気付きを得る事が沢山あり、本当に移住して良かったなと思います。私事ではありますが、良い御縁があり今年4月には、隣町に越してしまふのですが、八坂地域の皆さん、舟場、八坂地区の皆さんには大変感謝しています。本当に、ありがとうございます！

舟場自治振興会編集委員

桂川 昇悟